

輪島市復興まちづくり計画 フォローアップ委員会

1. 復興まちづくり計画の概要
2. 計画策定後の輪島市の状況
3. シンボル・重点プロジェクトの具体的な取組状況
4. その他計画の主な取組状況

令和8年2月17日（火） 14:00～
輪島市役所新館2階中会議室

1. 輪島市復興まちづくり計画の概要

▼復興まちづくりの骨子

復興に向けての基本理念
スローガン

もとよりもっと
新・輪島
みんなでつなぐ復興まちづくり

1
被災者の生活再建

[1-1]
被災者に寄り添った生活支援と住まいの再建

[1-2]
日常生活を支える地域コミュニティの再建

[1-3]
子ども・若者に向けた支援

2
地域を支える生業の再興

[2-1]
地域の伝統文化や自然景観等観光資源の再興

[2-2]
農林水産業(里山里海)の再興

[2-3]
持続可能な地域経済の再興

3
新たなまちへの再生

[3-1]
都市の将来像を念頭に置いた市街地の再生

[3-2]
地域の自立と持続可能性を支えるまちづくりの推進

[3-3]
防災力の向上と次世代への継承

▼シンボルプロジェクト・重点プロジェクト

シンボルプロジェクト

輪島朝市周辺再生プロジェクト

地震及び火災で甚大な被害を受けた朝市周辺を輪島市における復興のシンボルとして再建し、防災対策を強化しながら朝市と商店街及び住まいの共生を目指した市街地整備を行います。また、新たなチャレンジや交流を促進して、新しいまちとして生まれ変わるための環境整備及び支援を行います。



→基本計画 ■2-1-2 朝市通りや商店街の復興 →P.33

重点プロジェクト

輪島市の復興まちづくりを牽引する先導的取組として、5つの重点プロジェクトを定めます。(各項目の詳細は次ページ)

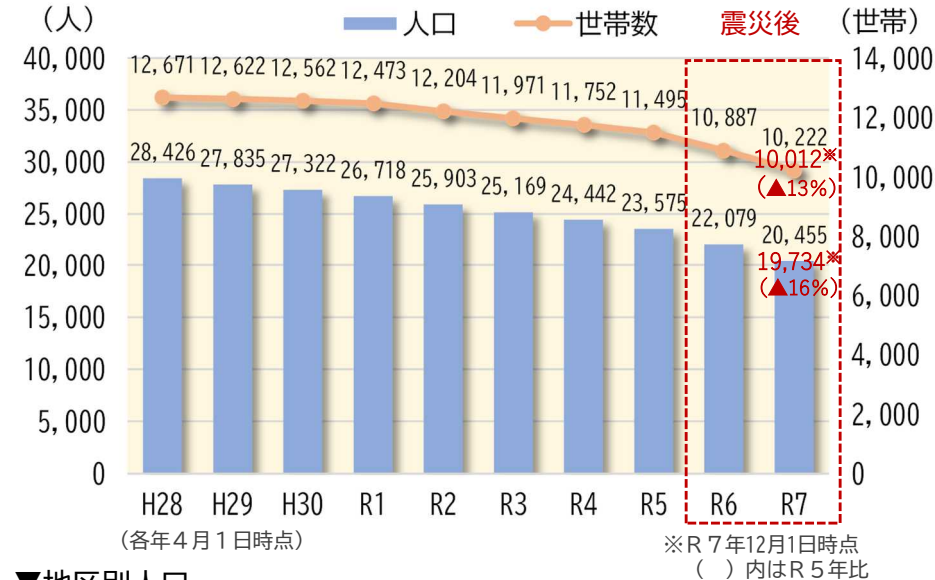
- 1 魅力ある住まいと拠点づくりプロジェクト
- 2 ひとと自然が育む子ども・子育て応援プロジェクト
- 3 まちの活力を高める商店街・観光再興プロジェクト
- 4 輪島塗をはじめとした伝統産業・伝統文化再興プロジェクト
- 5 輪島の恵みを取り戻すみなと復興プロジェクト

2. 計画策定後の輪島市の状況

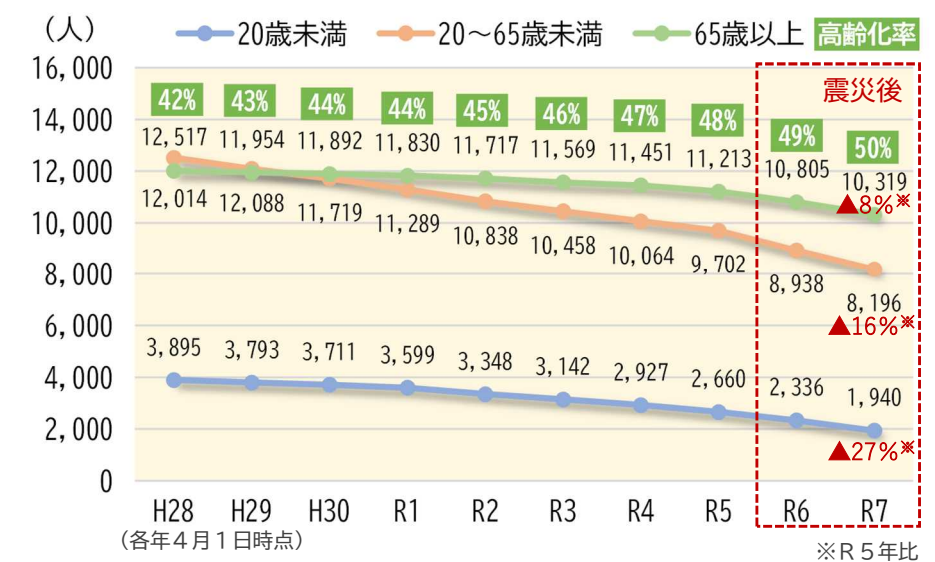
人口

- ・震災前から人口減少や少子高齢化が進んでいたが、震災後はその傾向がさらに加速（人口が2万人を割り、高齢化率50%）
- ・社会動態（転入－転出）の減少が進み、特に20歳未満の減少率が大きい（R5年比▲27%）

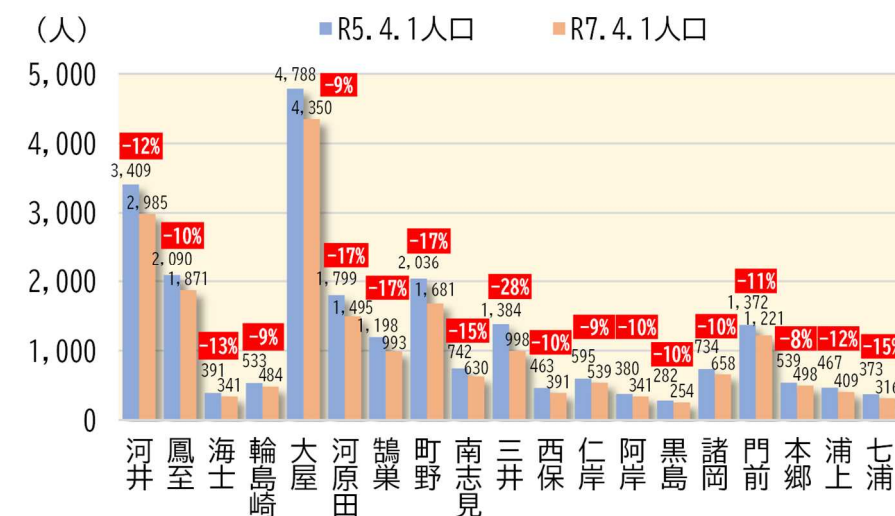
▼人口・世帯数の推移



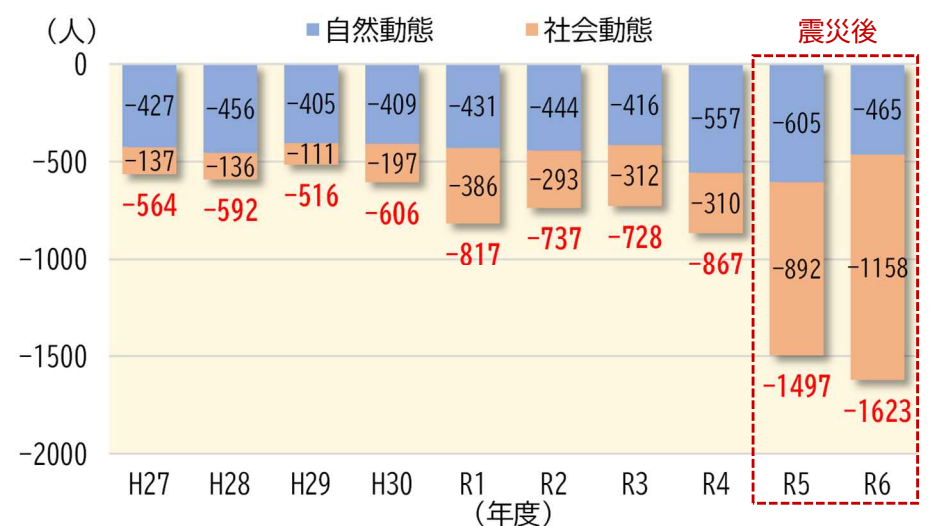
▼年齢3階級別人口割合の推移



▼地区別人口



▼人口動態の推移



出典：輪島市HP（人口集計表、地区別人口）

2. 計画策定後の輪島市の状況

インフラ・ライフライン

- 被災を受けた道路路線・河川本数は合計**1,207本**
うち**約9割**が設計委託業務の**発注済**
- 令和7年度中は発注業務の**約7割**が**設計業務 完了予定**
約2割が**工事 発注済**
- 令和8年度以降においては**約3割**が**設計業務 完了予定**

住まい（災害公営住宅）

- 災害公営住宅を**975戸**整備予定

中央地区	659戸
(うち宅田地区 150戸)	
西部地区	188戸
東部地区	128戸
計	975戸



令和9年度中 の入居開始を目指し整備中

生業の再建

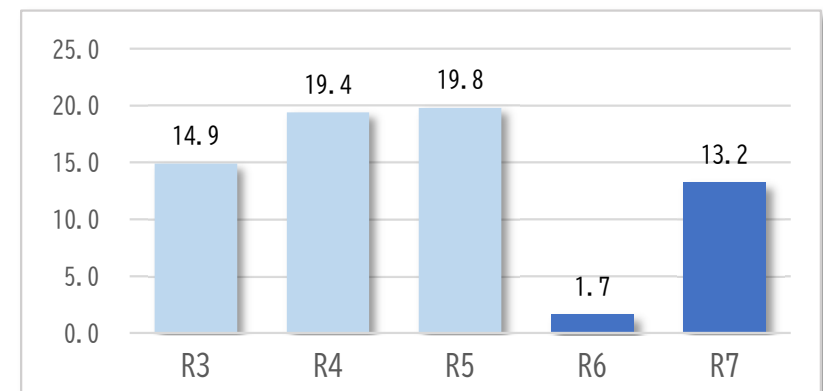
- 営業再開：発災から2年が経過し、市内の事業者の**営業再開は、約8割まで回復**

区分	会員数(R5.4)	会員数(R7.4)	再開数	再開率
輪島商工会議所	1,008者	918者	720者	78.4%
門前町商工会	165者	163者	134者	82.2%
計	1,173者	1,081者	854者	79.0%

- 営農再開：建設業者の協力を得ながら**157ha**の農地を復旧



- 漁業の再開：水揚げ高が震災前の**7割程度まで回復**



3. シンボル・重点プロジェクトの具体的な取組状況

シンボルプロジェクト

輪島朝市周辺再生プロジェクト

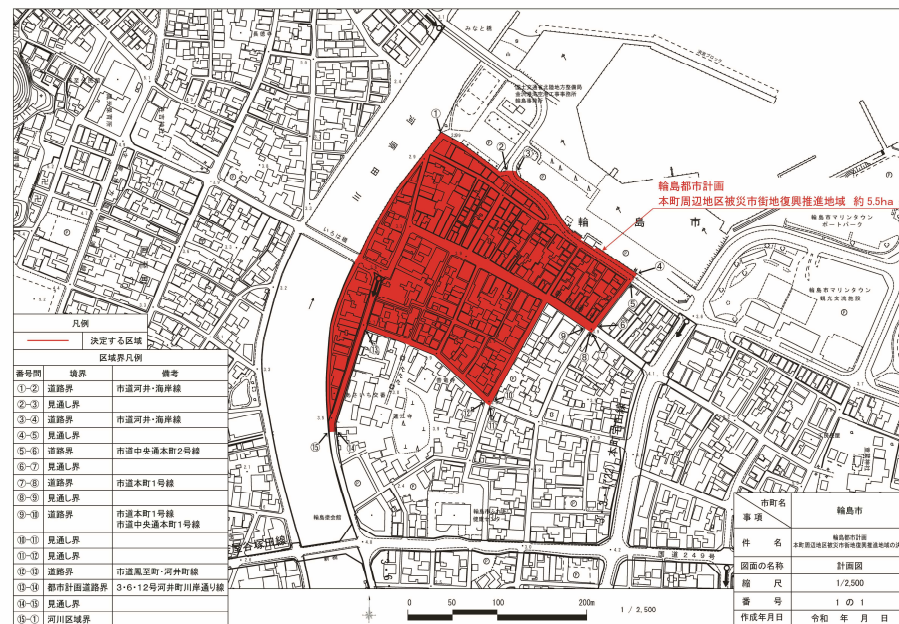
シンボルプロジェクト 主な取組の概要

- 行政の取組
- 市民・事業者等の取組

被災市街地の復興に向けた都市計画の取組

■今年度の取組

- 大規模火災で壊滅的な被害を受けた本町周辺地区の復興に向け、本町周辺地区被災市街地復興推進地域および本町周辺地区被災市街地復興土地区画整理事業(以下、区画整理事業)の区域を都市計画決定
- 区画整理事業により、道路をはじめ広場や観光施設、住宅地(災害公営住宅含む)などを確保する土地利用計画検討を実施

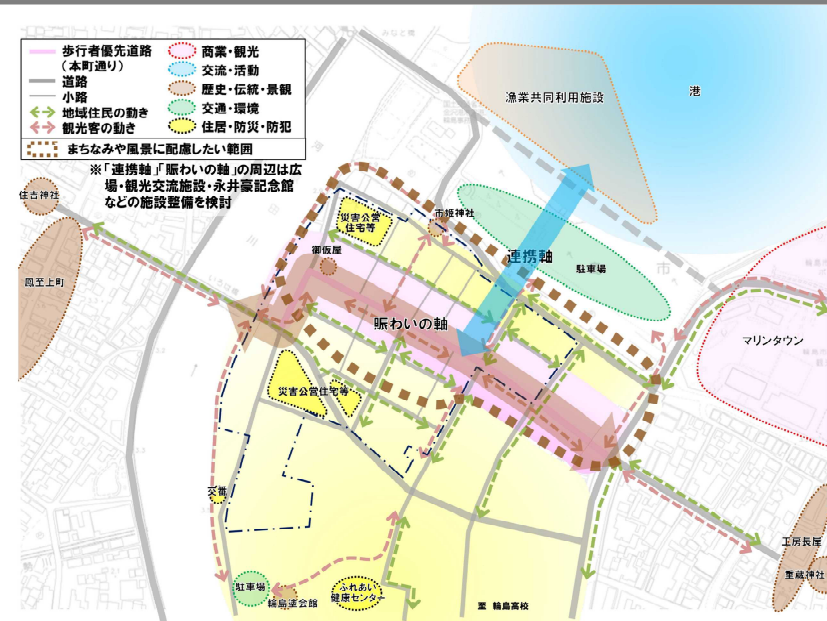


本町周辺地区被災市街地復興土地区画整理事業

まちづくりや景観形成に向けた取組

■今年度の取組

- 本町周辺地区まちづくり協議会が将来のまちづくりの指針となる「まちづくりビジョン」を作成予定
- 輪島市が景観計画を改定し、本町周辺地区を新たに輪島景観重点地区に指定するとともに、具体的な整備に向けたガイドラインを作成予定



まちづくりビジョン(案) ゾーニング図

★今後の取組・課題

- 区画整理事業により、道路用地、広場用地、観光施設用地、宅地(災害公営住宅含む)などを確保し、復興の基盤づくりを早期に実施
- 地元住民と商店街・朝市組合等の関係団体が連携し、まちづくりビジョン等に基づく各種取組を積極的に推進

シンボルプロジェクト 主な取組の概要

- 行政の取組
- 市民・事業者等の取組

朝市の再生に向けた商店街の整備

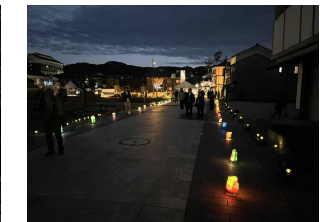
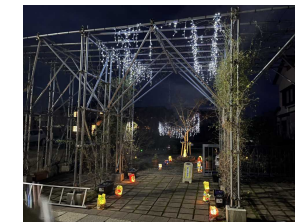
■今年度の取組

- 賃貸型商業施設は、被災事業者の再建施設にとどまらず、本町周辺地区のにぎわい創出のための核となる施設となることを目指して検討中(フードコート整備/連棟型店舗前の露店営業/午後営業/食べ歩き食材の提供/組合による能登特産品の棚貸店舗営業など)
- 食品に関する施設をHACCP対応施設とすることで検討中
- 飲食店用のフードコート型の施設1棟、物販店舗用の連棟型の施設3棟を整備予定

輪島市本町周辺地区のにぎわい再生

■今年度の取組

- 本町周辺地区まちづくり協議会が、(公財)区画整理促進機構の「令和7年度能登半島地震復興まちづくり支援助成金」を申請
- 3つのプロジェクト(輪島高校プロジェクト、本町はっこあそび場プロジェクト、復興アーカイブプロジェクト)を実施することで、「人づくり」文化を醸成し、にぎわいを創出
- 輪島高校生主体で、上記協議会主催、輪島商工会議所青年部とも連携した上記協議会主催のイベントを実施



輪島高校生プロジェクト イルミネーションストリート

★今後の取組・課題

- 朝市の再生に向け、地元住民や観光客などの多様な利用者を想定しながら、景観に配慮した施設整備を促進
- 輪島高校をはじめとした各種団体と連携したイベントの開催など、にぎわい再生に向けた継続的な取組を展開

シンボルプロジェクト 各取組の詳細

地震及び火災で甚大な被害を受けた朝市周辺を輪島市における復興のシンボルとして再建し、防災対策を強化しながら朝市と商店街及び住まいの共生を目指した市街地整備を行います。

また、新たなチャレンジや交流を促進して、新しいまちとして生まれ変わるための環境整備及び支援を行います。

取組	今年度の取組（●行政、○市民・事業者等※）	今後の課題・取組
<p>①朝市と商店街及び住まいの共生を目指した市街地整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>本町周辺地区被災市街地復興推進地域および区画整理事業の区域を都市計画決定。</u> ○住民主体で「<u>輪島市本町周辺地区まちづくり協議会</u>」を設立・運営し、目指す将来像の実現に向けたビジョンを検討。 ●○上記の実現に向け、区画整理事業による広場や商業施設、観光施設、住宅地(災害公営住宅含む)などの整備を市、UR都市機構等と検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生業や住まいの再建にむけ、早期の土地利用計画等の作成と工事開始。 ・工事費高騰や請負業者不足への対応。
<p>②輪島の特徴や魅力を実感し楽しめる核となる空間や施設の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本町商店街振興組合・輪島朝市組合から、<u>朝市エリアにおける土地利用に関する提案を輪島市及びまちづくり協議会に提出。</u> ●○被災事業者の再建施設にとどまらず、<u>本町周辺地区のにぎわい創出のための核となる施設(賃貸型商業施設)を検討中。</u> (フードコート整備/連棟型店舗前の露店営業/午後営業/食べ歩き食材の提供/組合による能登特産品の棚貸店舗営業など) ●○輪島市、中小機構、UR都市機構と連携して、施設などの整備計画検討を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者目線での空間・施設的具体化検討。 ・工事費高騰や請負業者不足への対応。
<p>③輪島らしい原風景の維持のための外観のルール化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「<u>輪島市景観計画</u>」を改定し、<u>輪島景観重点地区に「本町周辺地区」が指定(令和7年度内)。</u> ○本町周辺地区まちづくり協議会が「<u>まちづくりビジョン</u>」を作成し、市に提案予定。 ●「<u>まちづくりガイドライン</u>」を新規作成予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくりビジョン」や「まちづくりガイドライン」などの周知および適切な運用。
<p>④居住エリアや住民利用施設等の整備及び地元住民向けの新規店舗の誘致等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●区画整理事業により、広場、住宅地(災害公営住宅含む)などを確保する土地利用計画検討を実施。 ○輪島市、UR都市機構と連携して、輪島本町周辺地区まちづくり協議会(ワークショップなど)で、土地利用についての住民意見を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいの創出に向けた仮設店舗の検討とともに、新規店舗の誘致・出店の促進。

重点プロジェクト

1 魅力ある住まいと拠点づくり プロジェクト

重点プロジェクト 主な取組の概要

1 魅力ある住まいと拠点づくりプロジェクト

- 行政の取組
- 市民・事業者等の取組

災害公営住宅の整備計画の策定

■ 今年度の取組

- 災害公営住宅入居希望アンケートの実施
- 「輪島市災害公営住宅整備計画」を策定(令和7年12月)し、災害公営住宅の整備を検討(整備予定戸数975戸)
- ファミイ跡地の基本設計開始

住宅再建に向けた市独自の支援金制度の創設

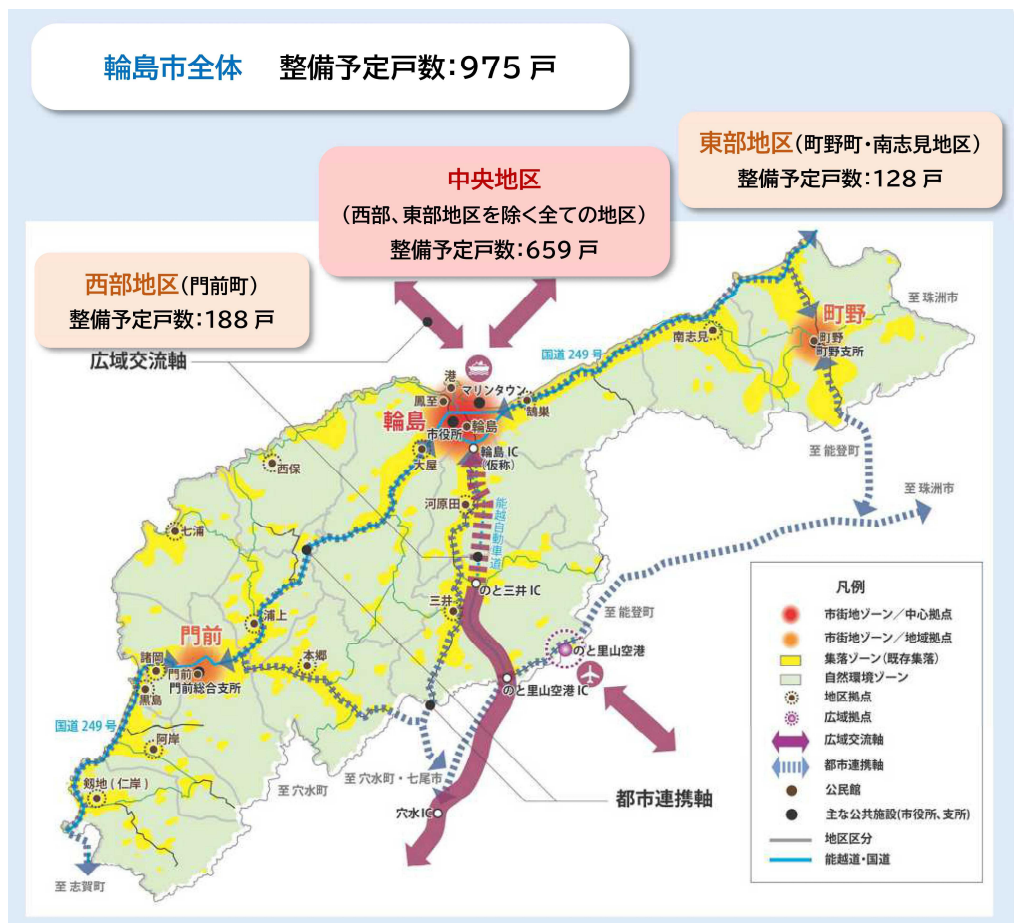
■ 今年度の取組

- 住宅新築への支援として、国や県の支援に加え、市独自の支援金制度を創設
 - ・被災者生活再建支援金 300万円
 - ・地域福祉推進支援臨時特例給付金 300万円
 - ・わじま住まい再建支援金 300万円
 - ・輪島産材活用住宅助成金 100万円
(その他、県・市義援金あり)

■ 今後の課題・取組

- 被災者の生活再建に向けた必要な災害公営住宅の早期整備と入居に向けたきめ細かな情報発信 (R8年5月申込開始、R9年度中の入居開始を目指す)
- 被災者の自力再建に向けた継続的な支援と各種支援制度等の周知徹底

■ 将来都市構造と整備予定戸数



重点プロジェクト 各取組の詳細

1 魅力ある住まいと拠点づくりプロジェクト

安全・安心かつ利便性を高めた住まいの確保を進めるとともに、安全・安心な場所への各種公共施設や生活拠点の集約化等により、持続可能なまちづくりを進めます。

また、耐震性に優れた住宅の建設・改修や、伝統建築物の耐震化を進めるとともに、地域コミュニティにおける自律的な防災力強化を図り、生活の質の向上と防災インフラの強化を両立します。

取組	今年度の取組（●行政、○市民・事業者等※）	今後の課題・取組
<p>公営住宅の整備 【1-1-7】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●建設型応急仮設住宅（建設戸数3,161戸、入居戸数2,879戸、入居者数5,929人）や賃貸型応急住宅（入居世帯790世帯、入居人数1,746人）を供与 ●意向調査や利用可能な土地の状況調査などを踏まえ、災害公営住宅の必要戸数、整備場所などを検討 ●「輪島市災害公営住宅整備計画」の策定（令和7年12月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸型から建設型への移転や要生活環境改善者の移転、被災自宅解体者の受入 ・災害公営住宅の設計・工事の促進
<p>住宅の強靱化支援 【1-1-9】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●輪島市住宅耐震化促進事業における補助制度を一部改正（耐震改修工事及び建替え工事に係る補助金の限度額を改正など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅耐震化の促進に向けた継続的な支援
<p>集会所等の再建 【1-2-2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティ施設等再建支援事業により、集会所 19施設、神社 22施設を再建（令和8年度まで） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの核となる施設再建の促進
<p>安全・安心な場所への居住地移転 【1-2-3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●○安全・安心な住まいの確保に向け、居住地の希望を地域で話し合い、住宅の集団移転について住民意向の聞き取り調査を基に市とともに検討し、防災集団移転事業を活用した集団移転を決定（現時点は3地区） 	<ul style="list-style-type: none"> ・移転先となる団地（災害公営住宅、自己再建地など）の整備
<p>安全・安心な場所への居住地の形成 【3-1-2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●○同上（防災集団移転事業を活用した集団移転を決定） ●○住民主体でまちづくり協議会を設立・運営し、区画整理事業について市とともに検討を実施し、住宅地（災害公営住宅含む）なども確保した土地利用計画を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民意向を踏まえた安全・安心な住まいの確保に向けた各種事業の促進
<p>利用しやすい場所での公共施設の再整備 【3-1-3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●中心拠点（輪島市街地）および地域拠点（門前地区、町野地区）において都市再生整備計画を策定し、拠点の復興に向けて検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点の復興に向けた公共施設等の整備の推進
<p>防災体制の強化 【3-3-3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防災計画等：計画の見直しに必要な対応の検証開始 ●災害対策本部：被災経験を活かした役割分担や連携に変更 ●避難所：自動開錠ボックスやスターリンクの設置 ●自主防災組織：私設消火栓の再配置や物資備蓄に対する補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連計画の策定・改訂 ・避難所開設・運営マニュアルの整備

重点プロジェクト

2 ひとと自然が育む子ども・子育て応援 プロジェクト

重点プロジェクト 主な取組の概要

2 ひとと自然が育む子ども・子育て応援プロジェクト

- 行政の取組
- 市民・事業者等の取組

小中学校の再編

■今年度の取組

- 輪島市立学校再編基本計画に基づき、10小学校(分校1)・4中学校(分校1)から、1小学校1中学校2義務教育学校へ再編
 - ・中央地区 新校名：輪島市立輪島小学校
 - ・東部地区 新校名：輪島市立東陽小中学校
 - ・西部地区 新校名：輪島市立門前学園

子どもの遊び場の確保

■今年度の取組

- 新たな遊び場の確保として民間保育所等の園庭を開放

★今後の課題・取組

- 輪島版コミュニティスクールの実現を目指し、地域と学校・保護者が、地域と共にある学校運営を検討
- 子どもの遊び場の確保に向け、保護者の意見を踏まえた既存施設の環境整備や民間保育所等との連携



■輪島市立学校の再編



重点プロジェクト 各取組の詳細

2 ひとと自然が育む子ども・子育て応援プロジェクト

豊かな自然環境を活かし、子どもたちが自然と触れ合いつつ、様々な学び、体験にチャレンジしながら成長できる教育環境や遊び場等を確保します。

また、都会や他地域からの児童生徒を積極的に受け入れつつ、地域住民と外部からの支援者が協力して、子ども・子育て世代を中心としたコミュニティの再生を図り、地域の活力を取り戻します。

取組	今年度の取組（●行政、○市民・事業者等※）	今後の課題・取組
<p>子育て支援のための 環境整備 【1-3-2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●児童センターの開所時間の見直しなど、より使いやすい施設運営や発災前と同程度の施設運営の維持。 ●輪島市立学校再編基本計画に基づき、10小学校(分校1)・4中学校(分校1)から、1小学校1中学校2義務教育学校へ再編。 ●○保護者と市が意見交換できる場(保護者説明会など)を設け、これからの子育て施策の充実に向けた意見・要望等を提案。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見を踏まえた既存施設の継続的な環境整備(新たな施設整備は未定)。 ・輪島版コミュニティスクールの実現を目指し、地域と学校、保護者が地域とともにある学校運営を実施。
<p>子どもの遊び場や スポーツの場の確保 【1-3-3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●児童センターの開所時間の見直しなど、より使いやすい施設運営を実施(新たな施設整備にまでは至っていない)。 ●民間保育所等における園庭の開放による新たな遊び場の確保。 ●輪島っ子体験教室(ドローン体験、星空体験)、こども防災キャンプ、プレイパーク、わじまっこリンピックなど、子どもの遊び体験やスポーツ体験を実施。 ○行政からの支援を受けながら、NPO法人などが主体となり、子どもの居場所づくりなどを推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見を踏まえた既存施設の継続的な環境整備。 ・子どもの遊び場確保にむけた民間保育所等への継続した協力の呼びかけ。 ・輪島っ子体験教室のメニュー拡充。

※行政で把握している内容

重点プロジェクト

3 まちの活力を高める商店街・観光再興プロジェクト

重点プロジェクト 主な取組の概要

3 まちの活力を高める商店街・観光再興プロジェクト

- 行政の取組
- 市民・事業者等の取組

仮設店舗の整備

■今年度の取組

- 仮設店舗を39店舗整備

★今後の取組・課題

- 本町周辺地区における仮設商店街の整備



営業再開のための上乗せ支援

■今年度の取組

- なりわい再建支援補助金
 - ・被災した施設や設備等の本格復旧を支援
 - ・補助率:7/8(国1/2・県1/4・市1/8)
 - ・補助上限:国・県15億円、市300万円
 - ・市申請数:42件(県申請数:136件)
- 持続化補助金(災害支援枠)
 - ・被災した施設等の応急的な復旧を主に支援
 - ・補助率:5/6(国2/3・市1/6)
 - ・補助上限:国200万円、市50万円、県100万円
 - ・市申請数:157件
- 営業再開支援補助金
 - ・早期再開のための仮店舗等の施設整備を支援
 - ・補助率:5/6(県2/3・市1/6)
 - ・補助上限:国300万円、市50万円
 - ・市申請数:128件(県申請数:228件)

新たなチャレンジや起業に対する支援制度の創設

■今年度の取組

- チャレンジ支援補助金
 - ・新たなチャレンジに必要なソフト事業を支援
 - ・補助率:5/6(県2/3・市1/6)
 - ・補助上限:県300万円、市50万円
 - ・市申請数:1件(県申請数:23件)
- 復興チャレンジ・新規出店補助金
 - ・既存制度を大幅に拡充し、新規出店等を支援
 - ・補助率:1/2(市)
 - ・補助上限:1000万円
 - ・申請数:6件(他にも複数の相談あり)

被災した観光・宿泊事業者の再建支援

■今年度の取組

- 震災復興観光振興推進事業補助金
 - ・地域の魅力づくり、国内外からの誘客につながる取組を支援
 - ・補助対象者:市内に事業所等の事業拠点があり、観光振興に資する法人、団体(任意団体を含む)、個人事業主
 - ・補助対象:観光振興事業、観光物産振興事業
 - ・補助上限:1事業者300万円 補助率:1/2
- 被災宿泊事業者再建支援事業補助金
 - ・被災した宿泊施設や設備等の本格復旧を支援(震災前 47施設→R7.11末日 24施設)
 - ・補助率:7/8(国1/2・県1/4・市1/8)
 - ・補助上限:国・県15億円、市2000万円
 - ・市申請数:0件(県申請数:0件)

★今後の課題・取組

- 営業再開によるにぎわい創出に向け、国・県等と連携した継続的な支援と各種支援制度等の周知徹底

重点プロジェクト 各取組の詳細

3 まちの活力を高める商店街・観光再興プロジェクト

市民生活に密着した市内の各商店街及び商店の再建への支援とともに、商店街のあり方を検討しながら、まちに新たな活力を生み出せる魅力ある個店の立地を積極的に支援し、地元経済の好循環を促します。

また、従来からの交流人口を受け入れる観光地の魅力を生かしつつ、地域に対して特別なつながりや愛着を持つ関係人口を増やす取組による持続可能な観光の実現を目指します。さらには、これまで実現できなかった能登半島全域の地域資源の組み合わせによる長期滞在を実現します。

取組	今年度の取組（●行政、○市民・事業者等※）	今後の課題・取組
<p>朝市通りや商店街の復興 【2-1-2】</p>	<p>●仮設商店街の整備数は39店舗(R7年12月時点)[仮設商店街整備事業]。 ●各種補助金の上乗せ支援を実施 ・小規模事業者持続化補助金:申請157件(R8年1月時点) ・なりわい再建支援補助金:申請42件(R8年1月時点、県採択数:136件) ・営業再開支援補助金:申請128件(R8年1月時点、県採択:228件) ●商店街の活性化に向けた各種支援を実施 ・商店街活性化イベント支援:申請1件(R7年12月時点)。 ・商店街等街路灯管理支援事業:申請3件(R7年12月時点)。 ・禅の里づくり推進事業:雪割草まつりへの事業補助を実施 ○各商店において、仮設商店街での営業や各種補助制度を活用した復旧など、早期の営業再開を実施。</p>	<p>・朝市周辺エリアは、R8年度に仮設商店街を整備予定。 ・本市独自の上乗せ支援は、国県の制度が継続する限り支援を継続予定。 ・各種イベントの実施補助は継続。</p>
<p>観光産業の復興 【2-1-5】</p>	<p>【事業再建等】 ●○震災からの復旧・復興に向け、民間事業者等が主体となる地域の魅力づくりや国内外からの誘客につながる取組を総合的に支援する補助制度を創設(申請28件、R7年12月19日時点)[震災復興観光振興推進事業補助金]。 ●○被災した宿泊事業者の事業再建のため、石川県の「なりわい再建支援補助金」の採択者に対する上乗せ支援を実施(申請0件、R7年12月18日時点)[被災宿泊事業者再建支援事業補助金]。 ○まちあるきガイドの養成、輪島温泉郷魅力アップのため温泉むすめの活用。 【マリンタウンの復旧等】 ●マリンタウン大型遊具復旧工事完了(令和7年5月)。 ●輪島港復旧・復興プランの策定(令和7年6月)。 ●親水護岸の平面化工事が完了し、にぎわい拠点となる広場としてリニューアル(令和7年8月)。</p>	<p>・各種補助金の継続とともに、震災学習プログラムや旅行商品造成、観光素材の磨き上げ、観光誘客・PR、フィルムコミッション活動によるロケ誘致を図り、関係人口や交流人口の増加促進。 ・復旧・復興整備の実施、クルーズ船の誘致。</p>

重点プロジェクト

4 輪島塗をはじめとした伝統産業 ・ 伝統文化再興プロジェクト

重点プロジェクト 主な取組の概要

4 輪島塗をはじめとした伝統産業・伝統文化再興プロジェクト

- 行政の取組
- 市民・事業者等の取組

官・民・産地が連携した「漆芸の聖地プロジェクト」の推進：輪島を「漆芸の聖地」にするための取組

養成施設の整備等（ハード）

■今年度の取組（石川県）

- 養成施設整備に向けた基本設計等に着手済（輪島漆芸美術館西側に建設予定、ワークショップスペースなど産業観光の機能も付与）
- 施設運営やカリキュラム等の検討開始



養成施設のイメージ

魅力発信・市場開拓（ソフト）

■今年度の取組

- 輪島塗の海外展開を見据えた勉強会の実施
- 児童生徒を対象とした輪島塗の製作体験会
- 県立美術館での輪島塗の特別展の開催

輪島塗の海外展開

■今年度の取組

- 世界を視野に入れた情報発信や商品開発、海外での出展など輪島塗の海外進出を支援のため、1.5億円を予算化
- 大阪・関西万博で輪島塗大型地球儀が常設展示されたパビリオンに322万人が来場
- 大相撲ロンドン公演で招待客に贈呈する伝統工芸品に輪島塗ボールペンや輪島塗箸が採用



職人への支援状況

■今年度の取組

- 被災した輪島塗職人の事業再開を手厚く支援
- 輪島塗製造に必要な原材料の購入費等を支援（伝統的工芸品産業支援補助金）
 - ・補助率：9/10(国3/4、市1.5/10)
 - ・補助上限：国1,000万円、市200万円
 - ・市申請数：206件(国申請数：305件)
- 輪島塗仮設工房を85室整備



★今後の課題・取組

- 受け継がれてきた伝統・技術の継承に向け、輪島塗の理解を深め、将来にわたって輪島塗の関係人口を増やす取組や輪島塗市場の拡大

重点プロジェクト 各取組の詳細

4 輪島塗をはじめとした伝統産業・伝統文化再興プロジェクト

輪島の風土に育まれた輪島塗をはじめとした伝統産業については、世界を相手に商売ができる高度な伝統技術を活かし、現代のニーズに応え、誰もが手に取った瞬間に欲しくなる商品を生み出せる産地となるために、新たな雇用の創出、技能伝承、商品開発、販路開拓等により、担い手が新しい未来を創る活動を支援します。

また、輪島独特の能登瓦の家屋が立ち並ぶ風景や伝統的建築物、祭り・風習等の伝統文化は、その良さを継承した中で、関係人口が地域の魅力を広く発信する仕組みの構築につなげます。

取組	今年度の取組（●行政、○市民・事業者等※）	今後の課題・取組
<p>輪島塗の再興 【2-1-1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 輪島塗仮設工房整備事業により85室を整備(R7年12月時点)。 ● ○伝統的工艺品産業支援補助金の上乗せ支援の申請は206件(R8年1月時点、国の採択数は305件)。 ● ○輪島塗のブランド化を推進するため、輪島漆器商工業協同組合において、販路開拓や新商品開発を実施[輪島塗世界ブランド化推進事業]。 	<ul style="list-style-type: none"> ・輪島塗仮設工房の整備について漆器組合の精漆工場を含む3室を整備予定。 ・輪島塗制作体験をR8年に実施予定。(石川県) ・伝統的工艺品産業支援補助金の上乗せ支援についてR8年度も継続的に支援予定。 ・輪島塗世界ブランド化推進事業による商品開発を継続的に実施。
<p>観光施設・名所 ・自然景観等の再整備 【2-1-6】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 白米千枚田は復興のシンボルとして、地元の意向を踏まえ、昔ながらの棚田景観の再生等を通じて、観光資源として復活。 耕作田：震災前 1,004枚 → 震災後 約120枚(R6)、約250枚(R7) ● ○地域が主体となり、総持寺祖院や黒島地区伝統的建造物群保存地区、大沢・上大沢の文化的景観(間垣集落景観)等の多様な地域的特色を示す文化財を再生・保存・活用[重要伝統的建造物群保存地区保存事業][文化的景観保護推進事業][重要文化財修理事業]。 	<ul style="list-style-type: none"> ・権限代行で県が水田復旧工事を実施しているほか、耕作管理団体が手作業による復旧工事を実施。R7より農薬不使用で耕作。 ・文化財の再生・保存・活用に向けた継続的な事業の実施。

※行政で把握している内容

重点プロジェクト

5 輪島の恵みを取り戻す みなと復興プロジェクト

重点プロジェクト 主な取組の概要

5 輪島の恵みを取り戻すみなと復興プロジェクト

- 行政の取組
- 市民・事業者等の取組

農地・農業の復旧と営農の再開

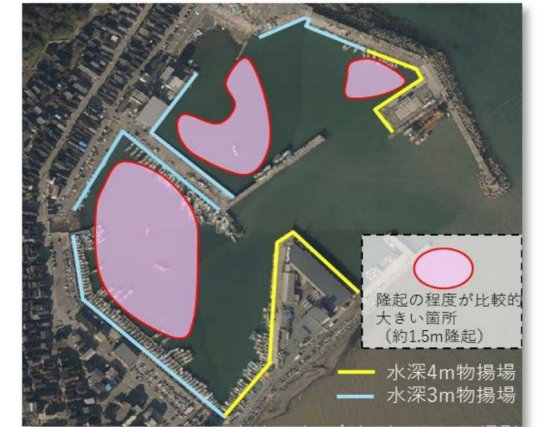
■今年度の取組

- 地震および豪雨により被災した382haの農地について、県内外の建設業者の協力を得ながら157haの農地を復旧
- 農業機械再取得等支援事業
農業用機械や建物などの再取得や修繕などについて国の交付金に乗せ補助(補助率 9/10) ※林業・漁業にも同様の制度あり
- 農地、農業用施設の復旧
災害復旧事業の負担割合を軽減(農地3⇒0%、農業用施設2⇒0%)
- 農地等手づくり復旧支援事業
農地、農業用施設の自力での復旧を支援(簡易な修繕)

漁業の再開

■今年度の取組

- 輪島港の浚渫や物揚げ場などの応急復旧により、水揚高は震災前の7割程度まで回復



★今後の課題・取組

- 農林漁業の本格復旧に向けた工事の促進や、共同利用施設の機能集約・強化を図る
- 新たな事業に取り組む事業者を支援し魅力あふれる復興産業を創出

1 木質バイオマス発電事業

- ・地域の自立と持続可能性を支える街づくりの推進
- ・環境に優しいエネルギー利用の促進
- ・電気・熱エネルギーの地産地消

2 森林再生整備事業

- ・農林水産業(里山里海)の再興
- ・循環型林業へシフトするための主伐再造林の推進
- ・未来の輪島の海の育成

3 熱を利用した魚の養殖事業

- ・農林水産業(里山里海)の再興
- ・林業との兼業化による安定収入源の確保
- ・養殖等ベンチャー事業による新たな水産業の創出

4 漆の木の植栽事業

- ・輪島塗の再興
- ・漆の地産地消

重点プロジェクト 各取組の詳細

5 輪島の恵みを取り戻すみなと復興プロジェクト

漁業・水産加工業等の水産業を再興するため、港湾・漁港・各種施設の迅速なインフラ復旧を進めるとともに、水産業従事者への支援を強化します。

また、観光客の嗜好やニーズの多様化に対応し、輪島の魅力ある魚介類や水産加工品等の付加価値を高めます。そして、輪島ならではの新鮮な野菜等の食材や調味料との組み合わせ等により、災害からの復興を印象づける新たな「輪島ブランド」の創出に取り組みます。さらには、クルーズ船の誘致を見据えた港湾整備や地元食文化の発信等に取り組みます。

取組	今年度の取組（●行政、○市民・事業者等※）	今後の課題・取組
<p>農林水産業の 再建・発展に 向けた支援 【2-2-1】</p>	<p>■農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●○農地災害(185件)及び農業用施設災害(347件)の災害査定が完了し、輪島市全域の測量業務を発注済。詳細設計について順次発注し、最短でR8年度に本復旧の工事発注予定〔農地農業用施設災害復旧事業〕。 ●○奥能登豪雨で堆積土による被災を受けた農地について応急復旧工事により159haの堆積土除去が完了。震災前の約8割(773ha)の農地が作付け可能〔農地農業用施設災害復旧事業〕。 ●○農家等による自力復旧に向け、農地・農業用施設や農産物の生産・加工に必要な施設・機械等の復旧に対して支援〔農地等手づくり復旧支援事業：申請395件、交付264件、農業機械再取得等支援事業：申請1,193件、交付608件〕。 ●○被災により低下した地域コミュニティ機能を再生するため、2集落(北谷・西脇・東中尾、高根尾)において地域モデルを構築〔農村地域コミュニティ再生モデル集落支援事業〕。 ○災害復旧事業に併せて農地の大区画化や生産効率向上を図るほ場整備事業の実施〔県営ほ場整備事業〕。 ○農業者が主体となり受託組織を設立し、その組織を介した農作業受委託マッチングにより、農家の作業効率化と不耕作地発生を抑止することを目的とした「奥能登農作業受託者協議会」が発足(令和7年10月下旬)。 ○JAが事務局となり、門前・輪島支部、町野・能都・柳田支部、穴水支部、珠洲支部の4つの支部に分かれ、田植えや刈取などの作業受委託の窓口とマッチングを実施。 ●トキ放鳥に向け、棚田米と能登米の部会も今年度に取り組むことになったため、浅い水辺での通年の採餌場所の確保など、トキの生息できる環境を整備〔能登地域トキ放鳥受入推進事業〕。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地、農業用施設の早期復旧に向けた工事の促進。 ・詳細設計及び工事発注の促進。 ・R8年度はR7年度と同じ内容で継続見込。 ・R8年度はR7年度と同じ内容で継続見込。

重点プロジェクト 各取組の詳細

5 輪島の恵みを取り戻すみなと復興プロジェクト

取組	今年度の取組（●行政、○市民・事業者等※）	今後の課題・取組
<p>農林水産業の 再建・発展に 向けた支援 【2-2-1】</p>	<p>■林業、治山施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市管理林道で災害査定を受けた路線(77路線)について詳細設計を実施中。詳細設計が完了したのから工事を発注[林道施設災害復旧事業]。 ●市管理の治山施設で災害査定を受けた箇所(7箇所)について詳細設計が完了し、工事を発注[林地荒廃防止施設災害復旧事業]。 ●被災を受けた製材業者や森林組合等の施設及び機械等の復旧・再取得に対し支援(5件要望あり)[木材加工流通施設等災害復旧支援事業]。 ○計画的な森林再生や災害に強い森づくりについて森林組合と方針・取組を検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細設計及び工事発注の促進。 ・工事発注の促進。 ・被災を受けた製材業者や森林組合等の施設及び機械等の復旧・再取得に対する継続支援。
	<p>■水産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●○漁業者の生活を支援するため、漁船等に被害を受けた漁業者のために漁協が共同利用に供する漁船の建造や中古船取得、漁具を導入する経費を支援[漁船等災害復旧支援事業]。 <ul style="list-style-type: none"> ・R6実績:中古船の導入2件、漁労設備2件、漁具16件 ・R7見込:新造船3件、中古船導入8件、漁労設備2件、漁具2件 ●○被災した漁業協同組合が所有する共同利用施設の修理に対する支援を実施[水産業共同利用施設災害復旧支援事業]。<u>水揚高は震災前の約7割まで回復</u>(R7年度)し、<u>施設・設備の早急復旧により担い手を維持</u>。 <ul style="list-style-type: none"> ・R6実績 製氷施設、燃油補給施設、ベルトコンベア、活魚施設 ・R7見込 荷捌所の応急復旧、係船チェーン設置 ●○県との共同事業により<u>新規海女の技術習得を支援</u>(R7:1名対象見込)[海女文化継承・振興事業]。 ●○石川県漁業共同組合などが<u>就業支援の各種取り組みを実施</u>しており、相談があった場合にスムーズに案内できる体制を構築。 ●被災した市管理漁港の災害復旧事業[漁港施設補助災害復旧事業]。 <ul style="list-style-type: none"> ・R6実績:5漁港について応急復旧工事を実施 ・R7見込:3漁港の応急復旧工事を実施。8漁港の実設計の完了見込(全漁港において応急復旧済(県管理漁港の代替利用を含む。)) ●令和7年6月に<u>輪島港復旧・復興プランを策定</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な支援を実施予定 <ul style="list-style-type: none"> ・R8見込:新造船or中古船導入4件 ・継続的な支援を実施予定 <ul style="list-style-type: none"> ・R8見込:燃油施設整備 ・R8以降:舳倉島荷捌所修繕、関連施設のマリンタウンでの整備 ・就業支援等の相談があった場合にすぐに案内できる体制を継続。 ・漁港はR12までの復旧を目指し、R7末より本復旧工事を発注予定。アクセスが不可能な漁港についての復旧時期は未定。 ・マリンタウンでの整備方法の検討、復旧・復興整備の実施、クルーズ船の誘致

4. その他計画の主な取組状況（シンボルプロジェクト・重点プロジェクトを除く）

目標	方策	今年度の取組の概要	今後の課題・取組
 被災者の 再建 支援	1 被災者に寄り添った生活支援と住まいの再建	[1-1-2 被災者の生活支援] ・青年海外協力協会(仮設住宅)や、輪島市社会福祉協議会(在宅)による訪問型式の見守り・相談支援を実施	仮設住宅や在宅の見守り・相談支援を継続的に実施し、被災者の生活再建を支援。
	2 日常生活を支える地域コミュニティの再建	[1-2-5 新たな交通手段の導入] ・AIデマンド運行システムを導入し、利用者の利用したい時間に合わせた随時運行化を実現。 ・交通空白地となった東部地区と夜間のライドシェア運行を開始。	現行事業の継続と新たな交通空白地が発生した場合の代替交通としてライドシェア運行エリアの拡大。
	3 子ども・若者に向けた支援	[1-3-5 子育て支援の関係機関との連携の推進] ・子育て健康課、教育委員会が連携し、保小連携、幼保連携について意見交換を実施。	関係機関や地域とも連携した、継続的な子育て支援の実施。
 地域を 支える 生業の 支援	1 地域の伝統文化や自然景観等観光資源の再興	[2-1-3 總持寺祖院を核とした禅文化の発信・活用] ・總持寺祖院が重要文化財に指定(R6年12月)され、国重要文化財修理事業により令和15年度末までに修理を実施予定。	旧森岡家及び旧森岡家土蔵修繕設計業務をR8年度中に発注予定であり、複数年をかけて修繕予定。
	2 農林水産業(里山里海)の再興	(全て重点プロジェクトのため省略)	—
	3 持続可能な地域経済の再興	(前述済み)	—
 新たな まちへの 再生	1 都市の将来像を念頭に置いた市街地の再生	[3-1-4 市外避難者・移住・定住者の受入体制の充実] ・移住定住支援金交付要綱を改正(R7年4月)し、市内に住宅を新築・購入する際の手厚い支援に充実。 (移住支援金は20件申請、定住支援金は1件、R8年1月末時点)	移住定住支援金の活用による住宅再建の促進および移住促進住宅の提供。
	2 地域の自立と持続可能性を支えるまちづくりの推進	[3-2-4 美しいまちなみの再建] ・伝統的建造物群保存地区保存整備事業等により、黒島地区での災害復旧事業及び修景事業の実施。	伝統的建造物群保存地区内における災害復旧事業及び修景事業の継続的実施。
	3 防災力の向上と次世代への継承	[3-3-5 防災教育の充実、防災意識・地域防災力の向上] ・防災士の育成及びフォローアップを実施。地域住民を主体とした避難所開設、学校による児童・生徒の安否確認の訓練を実施。	防災士の育成や訓練内容の充実、防災教育の推進。